

【別紙】

子ども見守りシートの活用について

家庭と学校が連携して、お子様の些細な変化に気付き、「いじめの芽」の段階で早期対応していきましょう。

子どもが学校・家庭・地域で見せる姿は、それぞれ違ってきます。

だからこそ、子どもに関わる全ての大人が「あれ、おかしいぞ」「いつもと違うぞ」と気になったとき、情報を共有することで、子どもの悩みやSOSにすぐに対応することができます。この「子ども見守りシート」を活用して、子どもの健やかな育ちを応援しましょう。

・・・活用方法・・・

お子様の様子が「いつもと違う」「原因がはっきりしない」「その様子が一回ではなく続いている」など気になることがあったら、本シートに必要事項を記入し、学校にご提出してください。

◆チェック項目は、子どもの変化の一部にしかすぎませんので、それ以外の変化であっても気になることは自由記述欄に記入してください。

◆記載された「子ども見守りシート」をご提出していただく教職員は、担任でも部活動顧問、管理職、スクールカウンセラーなど、誰に渡していただいても構いません。都合により持参できない場合は、学校まで電話にてご連絡ください。

*もちろん、このシートがなくても学校はいじめ等の相談を受けます。

◆提出された「子ども見守りシート」をもとに、学校として対応を始めます。学校は「子ども見守りシート」を受け付けたら、保護者と連絡を取り、内容を確認した上で、今後の対応について所見を記入します。その後、保護者と連携して事態の改善を図ります。

◆学校は、原本を保護者へ返送するとともに、写しを保管します。